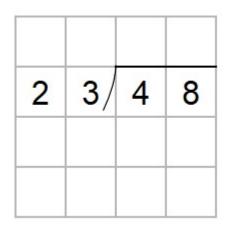


2桁で割る割り算の筆算のやり方を わかりやすく解説 (練習問題)

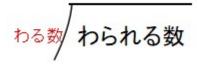
2けた÷2けたの筆算

48÷23を筆算を使って計算しなさい。

かるだるこの教育書 まず、わり算の筆算は次のように書いたよね。



家の屋根みたいな記号を使って、 わられる数が家の中で、わる数が外に出るんだったよね。 かるなるこの教育



さっそく筆算をしていこう。

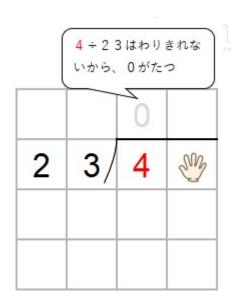
48って、十の位と一の位があるんだけれど、筆算をするときには、十の位 と一の位、順番に計算をするんだ。





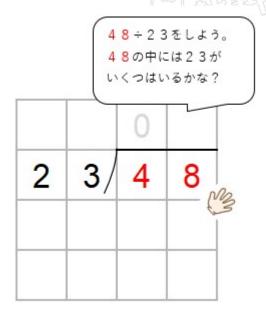
まずは、十の位だけをわり算するよ。 なので、一の位は「ちょっとまっていてね」と、手でかくしてしまおう。

一の位をかくすと、4÷23になるね。 ただ、わりきれないから、商に「O」をたてよう。



かるなるこの部が高い

ここで「かくしていた一の位」の出番だよ。 48の中に23がいくつ入るか考えよう。









コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。

 $48 \rightarrow 40$

23→20として考えると、40の中に20は2つ入るよね。

だから、とりあえず商として「2」をたてておこう。

かりの商の見つけ方(商の見当をつける コツ)

・わられる数、わる数を、何十の数と見て、商を見つける VO JOZIA SO SOLITÀ

$$48 \div 23$$

$$40 \quad 20$$

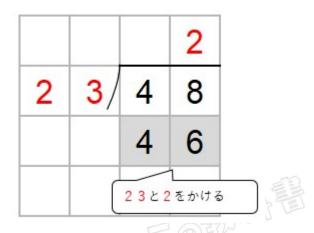
40の中に20は2つ 入るよね。 2 8

十の位を見ると、

次に、わる数23と一の位の上にたてた2をかけた数を48の下に書くよ。







48から46をひくよ。

			2
2	3/	4	8
		4	6
48から 46をひ	\supset		2



ここでチェックすることがあったね。 ひき算した数がわる数23より小さいかをかくにんしよう。 2は23より小さいからOKだね。

			2
2	3/	4	8
		4	6
	<mark>23</mark> より かチェッ	, }	2





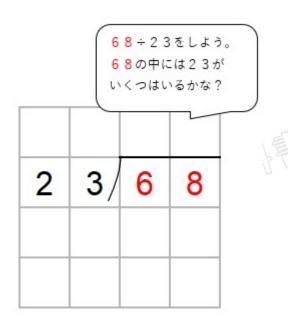
ということは、かりの商「2」は正しいことがわかるよ。 答えは「48÷23=2あまり2」と求めることができたね。

かりの商がちがっていた場合

かりの商がちがっていたら、「筆算の計算がどうなるのか」や「どうしたら いいのか」をしょうかいするね。 物でなるこの教育書

かりの商を小さくする場合

68÷23で一の位の上にたつ商を考えよう。





コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてることだったね。

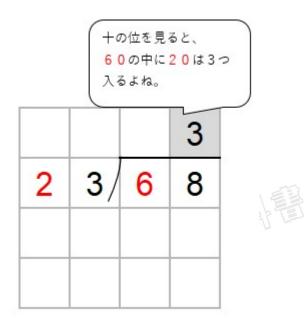
 $68 \to 60$

23→20として考えると、60の中に20は3つ入るよね。

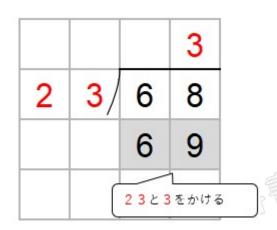
だから、とりあえず、商として「3」をたてておこう。







次に、わる数23と一の位の上にたてた3をかけた数を68の下に書くよ。



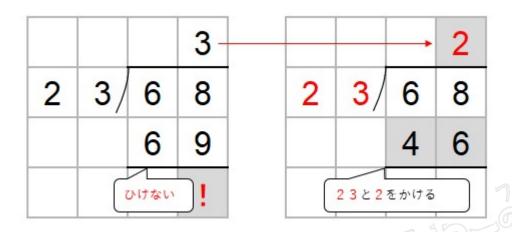
68から69をひきたいんだけど、ひくことができないよね。

			3
2	3/	6	8
		6	9
68から 69をひ	(1

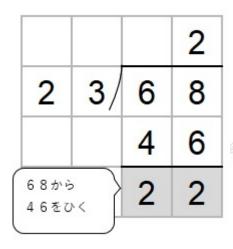




かりの商「3」がちがうんだ。 だから、かりの商「3」を1つ小さくしてみよう。



あとは、今まで同じように筆算をしていけばいいね。 68から46をひくよ。



ここでチェックすることがあったね。 ひき算した数がわる数23より小さいかをかくにんしよう。 22は23より小さいからOKだね。





			2
2	3/	6	8
		4	6
わる数23		2	2

かりの商がちがっていると、ひき算ができなくなるんだ。 そういうときは、かりの商を I つ小さくするといいよ。

かりの商を大きくする場合

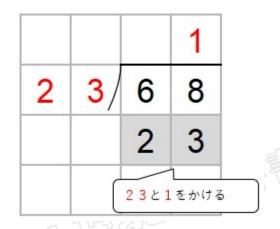
68÷23で一の位の上に「I」をたてたとしよう。

			1
2	3/	6	8

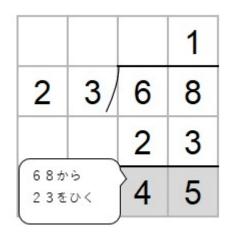
次に、わる数23と一の位の上にたてた | をかけた数を68の下に書くよ。







68から23をひこう。

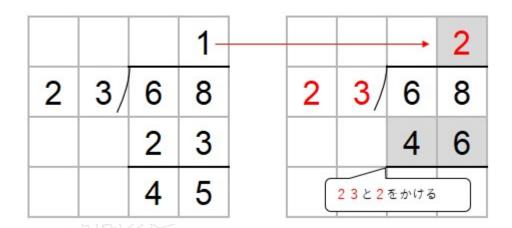


ここでチェックすることがあったね。 ひき算した数がわる数23より小さいかをかくにんしよう。 ひき算した数は45だから、わる数より小さくないよね。

ということは、かりの商「I」がまちがっていることになるんだ。 だから、かりの商「I」をIつ大きくしてみよう。







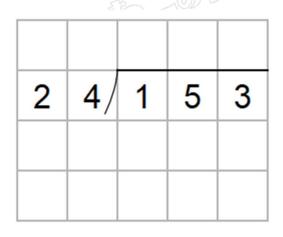
かりの商がちがっていると、ひき算したあとの数が「わる数」より大きくなるんだ。

そういうときは、かりの商を1つ大きくするといいよ。

3けた÷2けたの筆算

Ⅰ53÷24を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。





I53って、百の位と十の位と一の位があるんだけれど、筆算をするときには、百の位と十の位と一の位、順番に計算をするんだ。





まずは、百の位だけをわり算するよ。

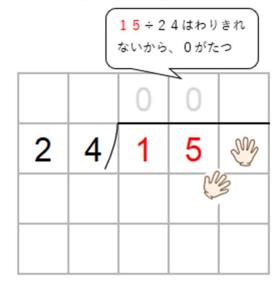
なので、十の位と一の位は「ちょっとまっていてね」と、手でかくしてしま おう。

十の位と一の位をかくすと、 I ÷ 2 4 になるね。 ただ、わりきれないから、商に「O」をたてよう。



かるなるこの歌節電

ここで「かくしていた十の位」の出番だよ。 |5の中に24がいくつ入るか考えよう。 ただ、わりきれないから、商に「O」をたてよう。

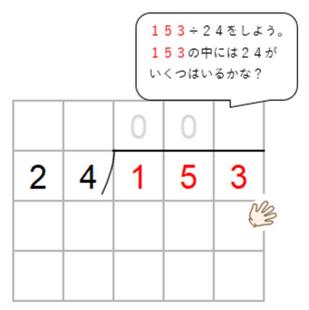








最後に「かくしていた一の位」の出番だよ。 153の中に24がいくつ入るか考えよう。





コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。

 $153 \rightarrow 150$

24→20として考えると、 | 50の中に20は7つ入るよね。

だから、とりあえず商として「7」をたてておこう。

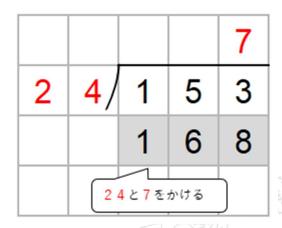
	150の中に20は 7つ入るよね。				
		0	0	7	
2	4/	1	5	3	
				S. S	



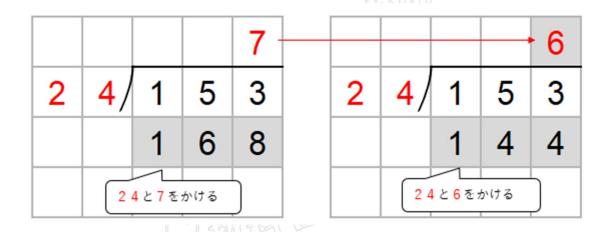
次に、わる数24と一の位の上にたてた7をかけた数を I 53の下に書くよ。



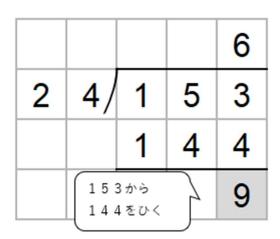




Ⅰ53から 168をひきたいんだけど、ひくことができないよね。 ということはかりの商「7」がちがうんだ。 だから、かりの商「7」を 1 つ小さくしてみよう。



あとは、今まで同じように筆算をしていけばいいね。 153から144をひくよ。







ここでチェックすることがあったね。 ひき算した数がわる数24より小さいかをかくにんしよう。 9は24より小さいからOKだね。

				6
2	4/	1	5	3
		1	4	4
		2 4 より かチェッ	7	9



答えは「153÷24=6あまり9」と求めることができたね。

7 | 3 ÷ 4 | を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。

				-
1	1	7	1	2
4	1/	7	1	3



7 | 3 って、百の位と十の位と一の位があるんだけれど、筆算をするときには、百の位と十の位と一の位、順番に計算をするんだ。

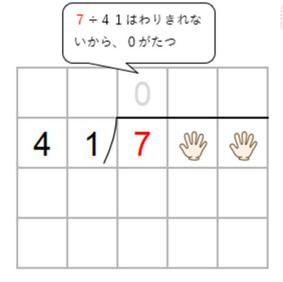
まずは、百の位だけをわり算するよ。





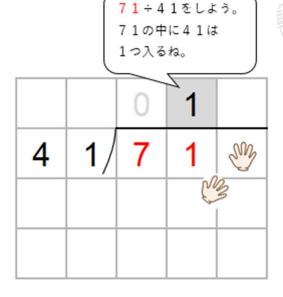
なので、十の位と一の位は「ちょっとまっていてね」と、手でかくしてしま おう。

十の位と一の位をかくすと、7÷4 l になるね。 ただ、わりきれないから、商に「0」をたてよう。





ここで「かくしていた十の位」の出番だよ。 7 | の中に4 | は | つ入るよね。

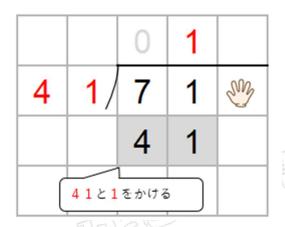




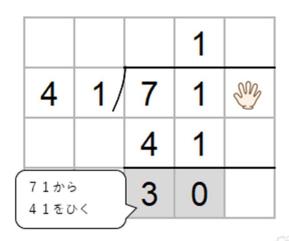
わる数41と一の位の上にたてた1をかけた数を71の下に書くよ。







71から41をひこう。





ひき算した数がわる数4 I より小さいかをかくにんしよう。 3 O は 4 I より小さいからOKだね。

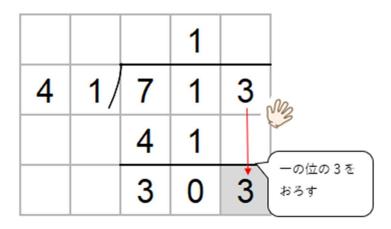








最後に「かくしていた一の位」の出番だよ。 一の位の「3」を下におろそう。



303の中に41はいくつ入るかを考えよう。

303÷41をしよう。 303の中に41は いくつはいるかな。

			1	
4	1/	7	1	3
		4	1	
		3	0	3

コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。 303→300

4 | → 4 0 として考えると、3 0 3 の中に 4 0 は 7 つ入るよね。

だから、とりあえず、商として「7」をたてておこう。





300の中に40は 7つ入るよね。					
			1	7	
4	1/	7	1	3	
		4	1		
		3	0	3	

次に、わる数4 I と一の位の上にたてた7をかけた数を303の下に書いて ひき算するよ。

				1	7
	4	1/	7	1	3
			4	1	
			3	0	3
4 1 ²	<mark>7</mark> をかけ	ã	2	8	7
	303かり		7	1	6

ここでチェックすることがあったね。 ひき算した数がわる数41より小さいかをかくにんしよう。 16は41より小さいからOKだね。





				1	7
	4	1/	7	1	3
			4	1	
			3	0	3
			2	8	7
1	る数41 さいかチ			1	6

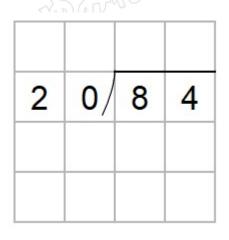


答えは「7 | 3 ÷ 4 | = | 7 あまり | 6」と求めることができたね。

2けたでわる筆算の練習問題

84÷20を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。





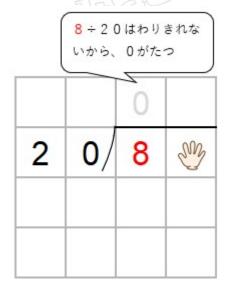




84って、十の位と一の位があるんだけれど、筆算をするときには、 十の位と一の位、順番に計算をするんだったよね。

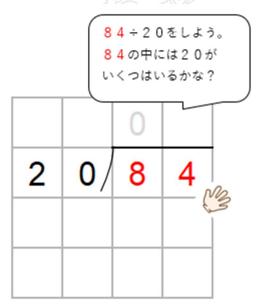
まずは、十の位だけをわり算するよ。 なので、一の位は「ちょっとまっていてね」と、手でかくしてしまおう。

一の位をかくすと、8÷20になるね。 ただ、わりきれないだから、商に「0」をたてよう。





ここで「かくしていた一の位」の出番だよ。 84の中に20がいくつ入るか考えよう。





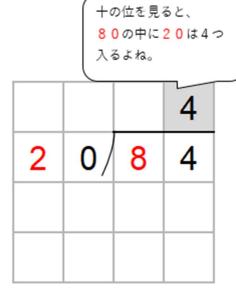




コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。 84→80

だから、とりあえず、商として「4」をたてておこう。

として考えると、80の中に20は4つ入るよね。



かるなるこの教育書

次に、わる数20と一の位の上にたてた4をかけた数を84の下に書くよ。

			4
2	0/	8	4
		8	0
	20 E	1 4をかけ	3

かるなるこの意味意

84から80をひくよ。





			4
2	0/	8	4
		8	0
84か 80を			4

ここでチェックすることがあったね。 ひき算した数がわる数20より小さいかをかくにんしよう。 4は20より小さいからOKだね。

			4
2	0/	8	4
		8	0
小さいが	2 0 より かチェック		4

ということは、かりの商「4」は正しいことがわかるよ。 「84÷20=4あまり4」と求めることができたね。





60÷ | 9を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。

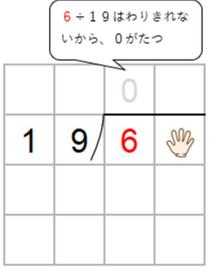
1	9/	6	0



60って、十の位と一の位があるんだけれど、筆算をするときには、 十の位と一の位、順番に計算をするんだったよね。

まずは、十の位だけをわり算するよ。 なので、一の位は「ちょっとまっていてね」と、手でかくしてしまおう。

一の位をかくすと、6÷19になるね。 ただ、わりきれないよね。だから、商に「〇」をたてよう。 かるなるこの教育書

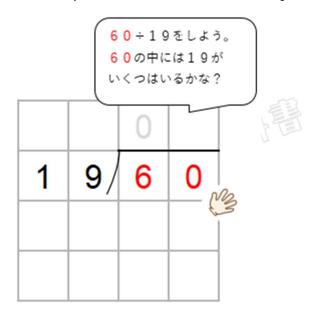








ここで「かくしていた一の位」の出番だよ。 60の中に | 9がいくつ入るか考えよう。



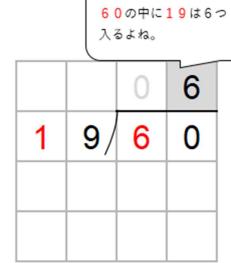
かびたこの歌語

コツは、十の位の数に注目して、かりの商をたてること。

 $19 \rightarrow 10$

として考えると、60の中に10は6つ入るよね。

だから、とりあえず、商として「6」をたてておこう。



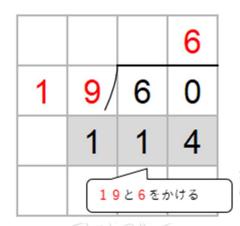
十の位を見ると、



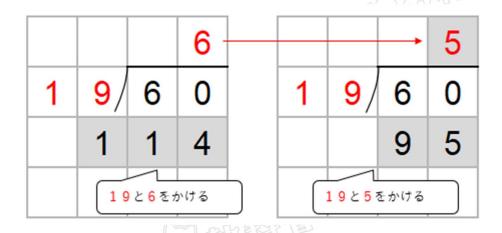
次に、わる数19と一の位の上にたてた6をかけた数を60の下に書くよ。



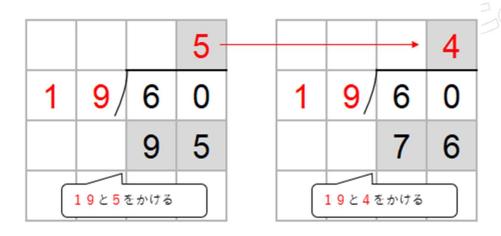




どう考えても60から114はひくことができないから、かりの商「6」を 1つ小さくしよう。



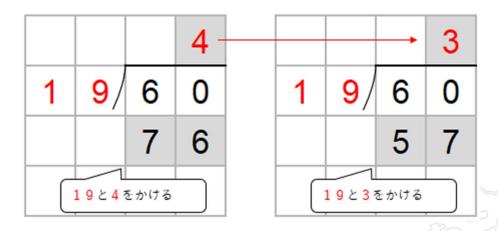
60から95はひくことができないから、かりの商「5」を1つ小さくしよう。







60から76はひくことができないから、かりの商「4」を1つ小さくしよう。



60から57をひくことはできるから、商は「3」になることがわかったね。

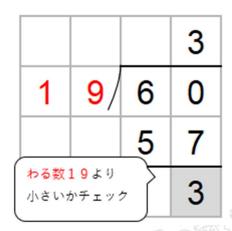
あとは今まで同じように60から57をひこう。

			3
1	9/	6	0
		5	7
60か 57を			3

ここでチェックすることがあったね。 ひき算した数がわる数 | 9より小さいかをかくにんしよう。 3は | 9より小さいからOKだね。



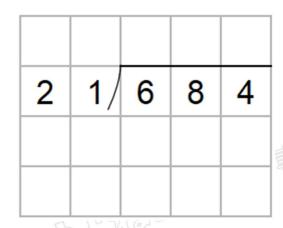




「60÷19=3あまり3」と求めることができたね。

684÷2 | を筆算を使って計算しなさい。

わり算の筆算は次のように書いたよね。



684って、百の位と十の位と一の位があるんだけれど 筆算をするときには、百の位と十の位と一の位、順番に計算をするんだ。

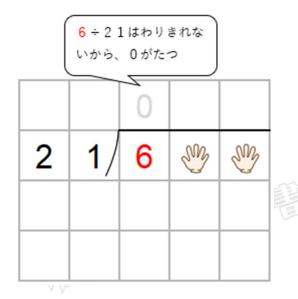
まずは、百の位だけをわり算するよ。

なので、十の位と一の位は「ちょっとまっていてね」と、手でかくしてしま おう。

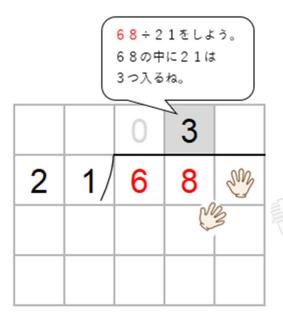
十の位と一の位をかくすと、6÷2 l になるね。 ただ、わりきれないから、商に「O」をたてよう。







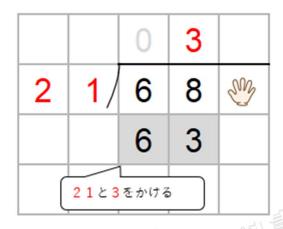
ここで「かくしていた十の位」の出番だよ。 68の中に21は3つ入るよね。



わる数21と一の位の上にたてた3をかけた数を68の下に書くよ。



ゆみねこの教科書



68から63をひこう。

			3	
2	1/	6	8	Sin
		6	3	
	3から 3をひく		5	



ひき算した数がわる数21より小さいかをかくにんしよう。 5は21より小さいからOKだね。

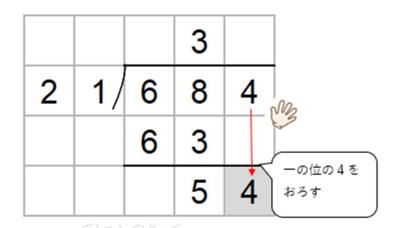
			0000111-	
			3	
2	1/	6	8	Sin
		6	3	
5数21d さいかチョ			5	



最後に「かくしていた一の位」の出番だよ。 一の位の「4」を下におろそう。



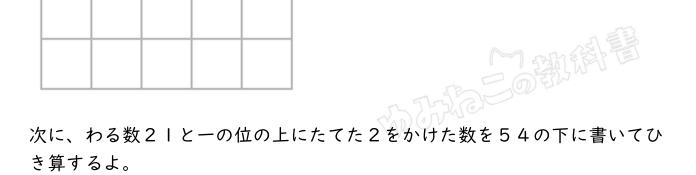




かるなるこの動意意 54の中に21はいくつ入るかを考えよう。

54÷21をしよう。 54の中に21は 2つ入るよね。

			3	2
2	1/	6	8	4
		6	3	
			5	4
			J	4
			5	-







				3	2
	2	1/	6	8	4
			6	3	
				5	4
	21と2	をかける		4	2
1	5 4 から 4 2 をひ・		7	1	2



ここでチェックすることがあったね。 ひき算した数がわる数21より小さいかをかくにんしよう。 12は21より小さいからOKだね。

			3	2
2	1/	6	8	4
		6	3	
			5	4
わる数2			5 4	4 2



答えは「684÷21=32あまり12」と求めることができたね。





「わり算の筆算のやり方(2けたでわる筆算)」まとめ

- ・わられる数、わる数を、何十の数と見て、かりの商を見つける。
- ・かりの商がちがっていると、ひき算ができなくなる。そういうときは、かりの商を I つ小さくする。
- ・かりの商がちがっていると、ひき算したあとの数が「わる数」より大きくなる。そういうときは、かりの商を I つ大きくする。







